

未来につなぐ、私たちのストーリー

街の鼓動に敏感です
朝日信用金庫

2025年9月30日

「サステナビリティ・リンク・ローン」による融資契約締結について

朝日信用金庫（本部 東京・千代田区／理事長 伊藤康博、以下「当金庫」）は、持続可能な地域社会の実現と、お客さまの脱炭素経営への取り組みに貢献するため、2025年9月30日（火）に以下の事業者さまと「サステナビリティ・リンク・ローン（以下、「SLL」）」の契約を締結したことを、お知らせいたします。

当金庫では今後も、持続可能な地域社会の実現に金融面から貢献するため、さまざまな金融サービスを通じて、お客さまのニーズにお応えできるように努めてまいります。

【企業概要】

事業者名	株式会社中村千之助商店
代表者名	中村 高志
本店所在地	東京都台東区浅草7-2-16
事業内容	皮革素材および皮革製品の販売、加工、新素材の開発、輸出入
設立	1968年10月1日
会社HP	https://www.nakasen.co.jp/

【契約概要】

契約日	2025年9月30日（火）
取扱店	浅草支店：東京都台東区浅草4-49-12
KPI	当社におけるCO ₂ 排出量の削減率（Scope1+Scope2）
SPT	CO ₂ 排出量の削減
フレームワーク	朝日信用金庫サステナビリティ・リンク・ローンフレームワーク （株式会社格付投資情報センターより第三者意見を取得）

S L Lとは、事前に定めた重要な評価指標（K P I）に対して、野心的なサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（S P T）を設定し、S P Tの達成状況に応じて金利が変動する融資商品です。朝日信用金庫のS L Lは、お客さまとともに「脱炭素（カーボンニュートラル）」を目指していくため、K P Iを「CO₂排出量の削減率」、S P Tを「CO₂排出量の削減」として設定し、その達成状況に応じて金利が変動する仕組みとしています。

なお、朝日信用金庫が策定したサステナビリティ・リンク・ローンフレームワークは、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センターより、サステナビリティ関連の原則等に整合しているとの評価を得ています。

事業者の「想い」

北海道に生息するエゾシカは、野畑を荒らし、狩猟の対象となる、地元では「害獣」として扱われてしまう存在でもありました。

約10年前、そのような状況に心を痛めていた私たちは、北海道の豊かな自然環境を守ることを目指して、それまで捨てられていたエゾシカの「鹿皮」を生かした革製品の開発を始めました。

このように「サステナブルな社会の実現」に向けて、さまざまな取り組みを続けてきましたが、地球温暖化が進むなか、自社でもさらに「脱炭素」に取り組む必要があると感じています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【 事業者さま（以下、「当社」）について 】

当社は1920年10月に東京・浅草で皮革商として創業。以降は100年以上にわたって皮革素材および皮革製品の販売、鞣し（なめし）、加工、新素材の開発などを主業としてきました。

「吸放湿性」「強度」「耐熱性」「耐摩耗性」などに優れた特性を持ち、かつ永く使い込むほどに風合いが増していく、「皮革」という繊維のすばらしさを世の中に伝えていくため、当社は「革の新しい可能性を見つけ出す」という企業理念のもと、皮革素材の新商品の開発を続けています。

ヨーロッパでは、革は紀元前より履物に使用されており、欧米的なライフスタイルには「皮革」という素材が生活に溶け込んでいますが、明治時代に入ってから庶民の間で牛肉の肉食が習慣化された日本では、いまだに皮革を「普段使いではない、特別な素材」と捉える風潮があります。

そうした中で、当社は石油由来の合成皮革は取り扱わず、「天然皮革本来のすばらしさをどう訴えていくか」について、当社のお客さまと一緒に考え、オーダーメイドの商品開発を行っています。

また皮革に親しみを感じてもらえるように、手軽に楽しめるレザークラフトキットなどの開発と自社販売も手掛けています。

**【 当社のサステナビリティ方針について 】**

当社は「革の新しい可能性を見つけ出す」ことを模索する中で、約10年前に北海道で「エゾシカの害獣問題」が起きていることを知り、狩猟後に廃棄されていたエゾシカの鹿皮を使用した革製品の開発を行うことで、資源が循環する社会の一員を目指していく取り組みを本格的に進めてきました。

このころから当社は「豊かな自然環境を守ることに貢献する会社を目指す」という長期ビジョンを掲げており、その取り組みを自社の成長につなげていくことを目指しています。また豊かな自然環境を守られなければ良質な皮革を確保できなくなるため、これ以上の地球温暖化を食い止めることも不可欠であります。

つまり、「カーボンニュートラルの達成を、自社の利益成長と社会課題の解決＝持続可能な地域社会の実現への貢献の両立」へとつなげていきたいと考えています。

<気候変動に対する考え方、対策および方針>

当社は、気候変動が引き起こす自然災害は、当社の事業活動にも大きな影響を与える可能性がある重大な課題であると認識に基づいて、以下の取り組みを進めていきます。

- ✓ CO₂排出量の削減
- ✓ エネルギー消費量の削減
- ✓ 再生可能エネルギーの活用
- ✓ 環境に関する法令等を遵守

また自社の取り組みを公表していくことで、皮革を製品化する協力業者の方たちに「脱炭素」の取り組みに関する啓発へとつなげていくことも目指しています。

<取り組み目標>

当社は、以下の目標を掲げています。

- ✓ 長期目標として、2050年度までに「カーボンニュートラル」の達成
- ✓ 短期目標として、毎年度2.8%以上のCO₂排出量の削減

【 当金庫の評価 】

当社は、SLLにおけるSPTのほか、自社のサステナビリティ方針において、気候変動に対する高い問題意識と、CO₂排出量削減に向けた具体的な取り組み方針が示されています。また、具体的な取り組み目標を掲げており、今後は適時、適切に对外開示されます。

さらに、以前から「エゾシカ対策」というサステナブルな取り組みの実績もあり、持続可能な地域社会の実現のために、さまざまな取り組みを継続していくという「継続への強い意志」が感じられます。

当金庫は、当社の環境課題解決へのお取り組みに敬意を表し、またそのお取り組みに対して貢献するために、SLLの融資契約を締結いたしました。

今後も当社のお取り組みに貢献できるよう、努めてまいります。

以 上

《 本リリースに関するお問合せ：朝日信用金庫 融資業務部 高木 TEL 03-3862-7929 》